

ADgear

TALKBACK REMOTE

TB-3A

INSTRUCTION MANUAL

この度はアドギア製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

ご使用前に、必ずお読みください。



安全にご使用頂くため、次の事を必ずお守りください。

1. 設置に関して

1-1. 設置環境



- 引火性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。スイッチ等の操作で火花が飛んで火災が起こる危険性があります。
- また、腐食性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。腐食により、絶縁不良を起こし、機器の故障や火災の原因になります。
- その他仕様で定められた環境に於てご使用ください。

1-2. ラックマウント



- ラックマウントする時は、特別の規定が無い限り 5mm の ISO ネジを使用し、それに合ったドライバーを使用して取り付けてください。5kg を越える機器を取り付ける場合は二人で作業し、一人はラック後面から機器を支えてください。
- 4本の取り付けネジはラックイヤーの下側のネジから取り付けてください。それ以外の方法で取り付けると、怪我をする場合があります。

1-3. 供給電源電圧の確認



- 日本国内向けのアドギア製品の供給電源電圧は特別の仕様でない限り AC100V ± 10% となっています。これ以外の電圧が加えられますと正常に動作しないばかりか、機器の故障あるいは火災の危険があります。
- 必ず規定の電圧を供給してください。
- DC 電源仕様機器の場合は規定の直流電源を正しい極性で供給してください。
- DC 電源仕様の機器に AC (交流) 電源を供給すると機器の故障や火災の原因になりますので絶対にこの様な事はしないでください。

1-4. 電源供給



- 電源プラグをコンセントに差し込む時は本体の電源スイッチが OFF になっている事を確認してから差し込んでください。電源スイッチが ON になったまま電源プラグを差し込むと、操作スイッチやポリウムの設定によっては接続されている機器の故障を招いたり予期せぬ動作により怪我あるいは死亡事故の原因になる危険性があります。

1-5. 機器カバーを外して内部の設定をする時

- 内部にある設定スイッチを操作する等、機器カバーを外さなければならなくなった時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

○電源プラグを差したまま作業をすると、機器故障の原因になるばかりでなく感電等で火傷を負ったり電気ショックにより死亡する危険性もあります。

また、内部のコンデンサーに電荷が残っている場合がありますので電源 OFF 直後にこの様な作業は行わないでください。

2. 運用中の安全確認



2-1. 電源プラグの清掃

- 電源プラグ付近に埃が溜まるとその埃が湿気を吸って短絡し、火災の原因になる恐れがあります。定期的に点検清掃を行ってください。点検間隔は設置環境によります。

3. 保守における安全確保



3-1.

[1. 設置に際して] の注意がそのまま適応されます。



3-2. その他

- 機器をラックから取り外す時は電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。また、ラックマウントねじを外す順番は、上のねじから先に外してください。5Kg を越える機器は二人で作業し、必ず一人は機器を支えてください。

CONTENTS

| | |
|-------------------------------|----|
| GENERAL..... | 4 |
| SPECIAL FEATURE..... | 4 |
| OPERATION..... | 5 |
| 【操作パネル】..... | 5 |
| 【前面】..... | 6 |
| 【背面】..... | 7 |
| TECHNICAL SPECIFICATIONS..... | 8 |
| 【内部の調整方法】..... | 8 |
| BLOCK DIAGRAM..... | 9 |
| APPEARANCE..... | 10 |

GENERAL

TB-3A はフレキシブルマイクを搭載したトークバックリモートボックスです。
マイクアンプとコンプレッサーを内蔵し、ラインレベルのトークバック音声とスイッチ制御信号を出力します。

トークバックスイッチの制御信号にはディレイ回路を装備していますので、TB スイッチを押した際のメカニカルノイズを軽減します。

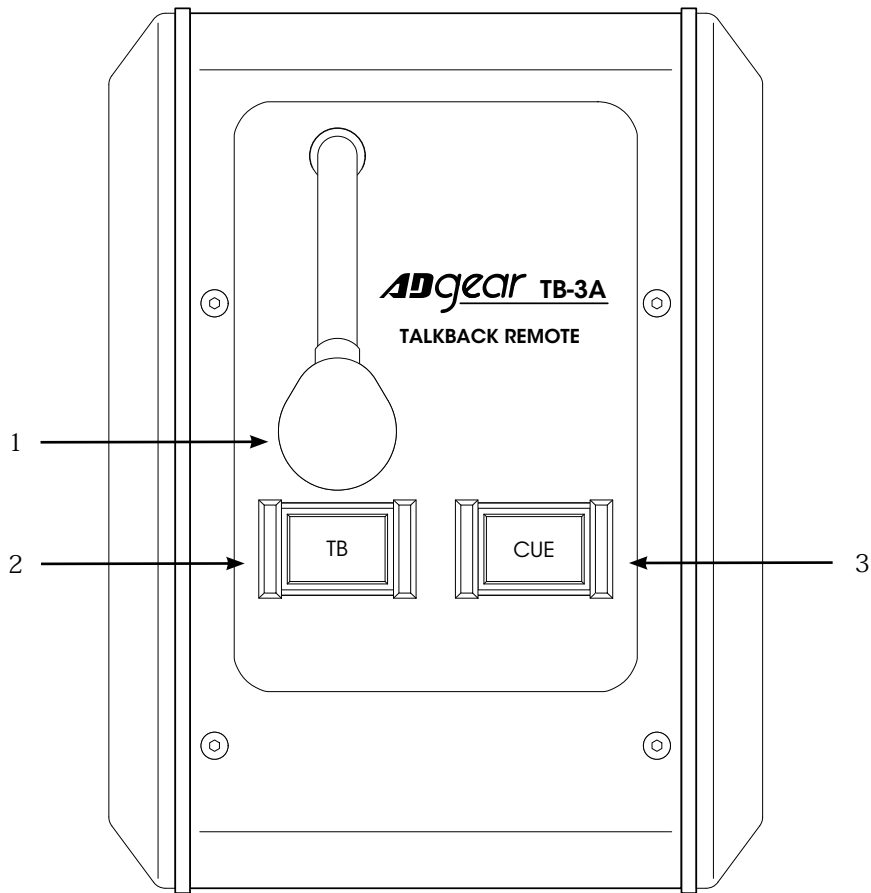
別売の TB-31 トークバックインターフェイスと組み合わせることで、ご使用中の設備に簡単にトークバック機能を追加することができます。

SPECIAL FEATURE

- ゲイン調整が可能なマイクアンプとスレッシュホールドが調整可能なコンプレッサーを搭載
- スイッチ制御にはディレイ回路を装備
- プログラムの確認に便利なヘッドホンモニター回路

OPERATION

【操作パネル】



1. マイクロフォン

トークバックに使用する無指向性のエレクトレットコンデンサーマイクロホンです。
フレキシブルマイクは自由な角度調整が可能ですが、強く鋭角に曲げると故障の原因となります。

2.TB スイッチ

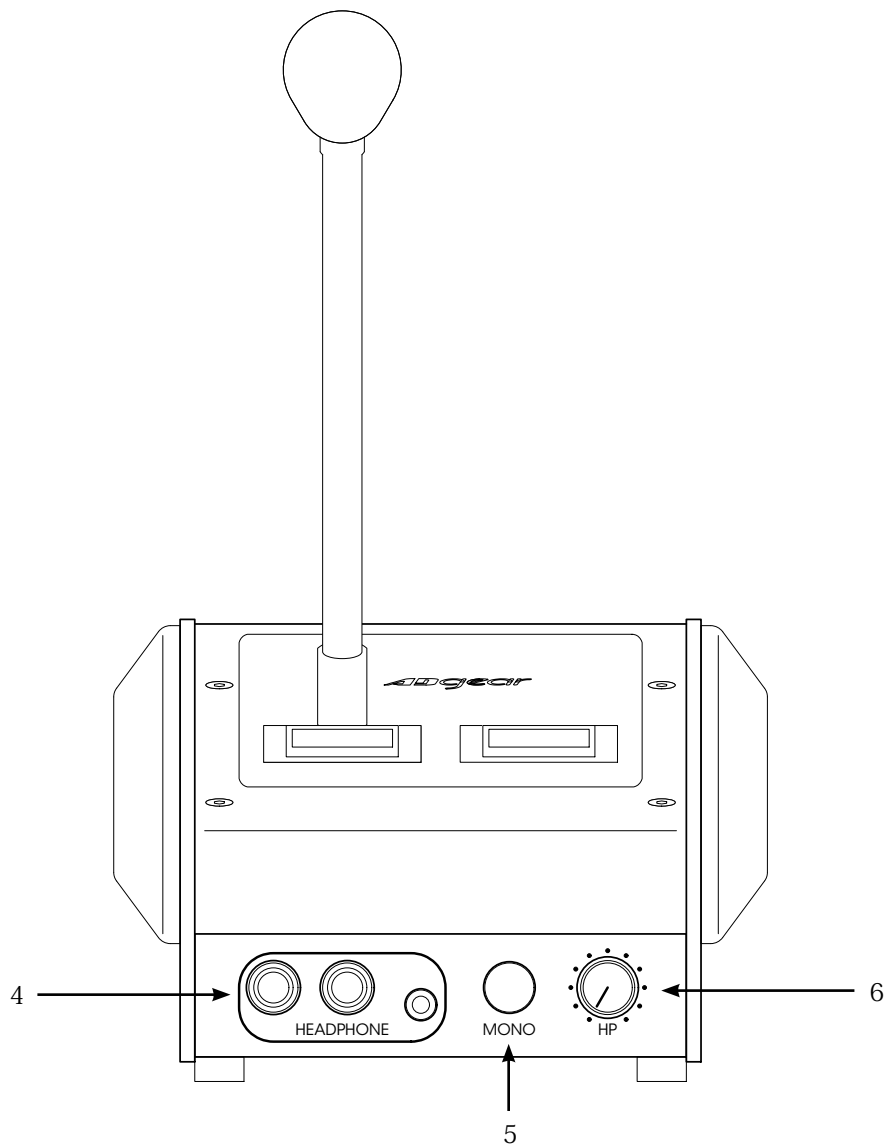
トークバック機能で相手に話しかける時に押します。
スイッチが押されると内蔵のタイマー回路により一定時間経過した後に制御信号が出力されます。
この動作により TB スイッチを押した際のメカニカルノイズが軽減されますが、スイッチ操作と同時に話した場合は会話の冒頭が欠けることがあります。

3.CUE スイッチ

スタジオの CUE ランプを点灯させる制御信号を出力します。
この制御信号は、TB-31 トークバックインターフェイス内部で ADgear アナウンスコントローラーシステムの CUE ランプを点灯させる信号に変換されます。

OPERATION

【前面】



4.HEADPHONE ジャック

TB-31 トークバックインターフェイスのモニター入力に接続された信号を聴く場合に使用します。φ 6.3 標準ジャック 2 個と φ 3.5 ミニジャック 1 個が使用できます。

5.MONO スイッチ

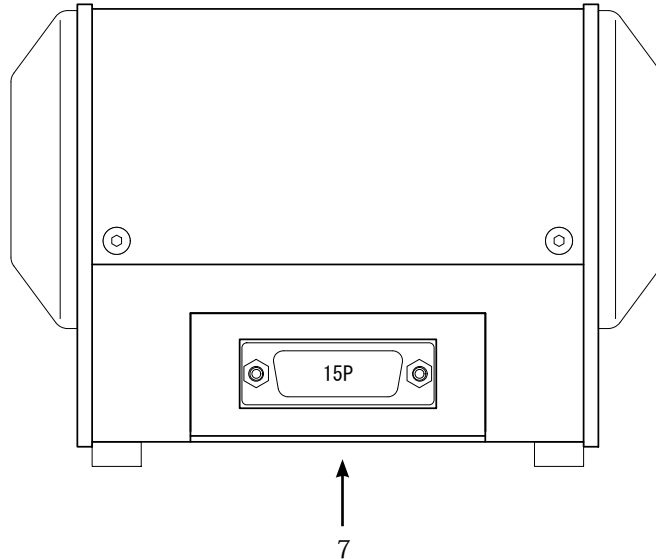
ヘッドホンをモノラルで聴きたい時にはこのスイッチ押します。

6.HP レベル

ヘッドホンの音量を調整します。

OPERATION

【背面】



7. 入出力コネクタ

TB-3A の入出力コネクタです。別売りの TB-31 トークバックインターフェイスと接続します。

入出力コネクタ ピンアサイン

D サブコネクタ オス 15 ピン M2.6 ネジ

| ピン番号 | 信号 | 記事 |
|------|--------|--------------|
| 1 | MIC+ | +4dBu バランス出力 |
| 9 | MIC- | |
| 2 | GND | |
| 10 | TB SW | タイマー回路経由 |
| 3 | CUE SW | |
| 11 | GND | |
| 4 | HP L | ヘッドホンアンプ入力 |
| 12 | HP R | |
| 5 | GND | |
| 13 | EXT TB | タイマー回路経由 |
| 6 | ※ | 接続不可 |
| 14 | GND | |
| 7 | +24V | |
| 15 | GND | |
| 8 | GND | |

※ 6 番ピンは内部で使用していますので、何も接続しないで下さい。

TECHNICAL SPECIFICATIONS

◆ マイク出力

| | |
|-----------|--------|
| 出力回路 | 電子バランス |
| 出力レベル | +4dBu |
| 出力インピーダンス | 200 Ω |

※アンバランス負荷には対応していません。

◆ ヘッドホンアンプ

| | |
|-----------|-------------------------------------|
| 入力回路 | アンバランス入力 |
| 入力レベル | -2dBu |
| 入力インピーダンス | 10k Ω |
| 出力インピーダンス | 100 Ω |
| 出力コネクター | φ 6.3 標準ジャック× 2 個、φ 3.5 ミニジャック× 1 個 |

◆ 電源

| | |
|------|-------|
| 電圧 | DC24V |
| 消費電流 | 150mA |

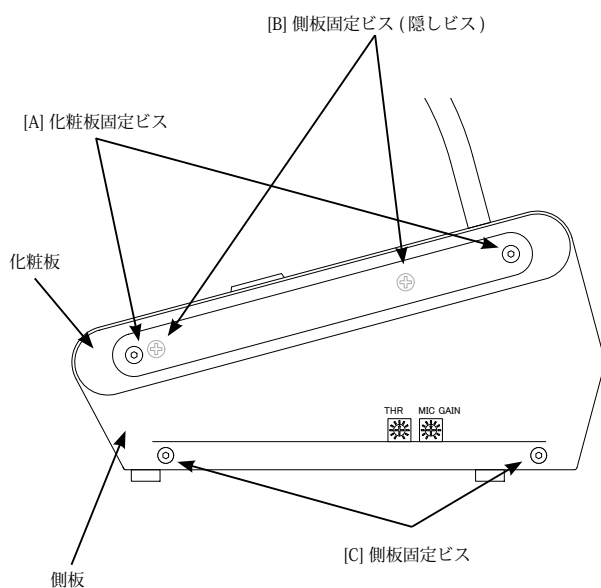
◆ サイズ、重量

| | |
|-------------------------------|-------|
| 133 (W) × 94 (H) × 186 (D) mm | |
| ※但し突起物は除く、外観図参照) | |
| 重量 | 1.3kg |

◆ 構成

| |
|-------------------|
| 本体× 1 |
| インストラクションマニュアル× 1 |

【内部の調整方法】



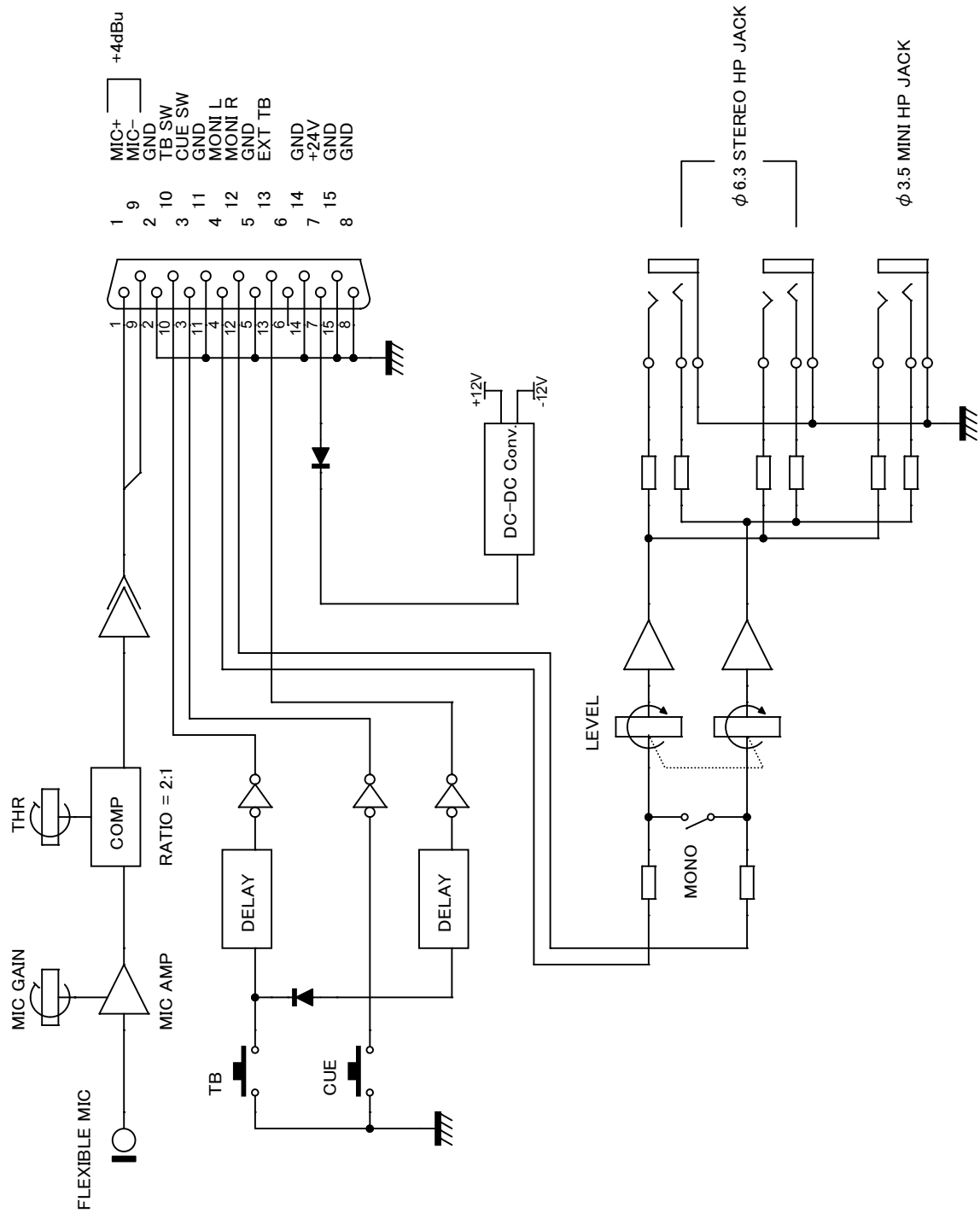
マイクアンプのゲイン調整およびコンプレッサーのスレッシュホールド調整は、本機右側の側板を開けて行います。必ず TB-31 の電源を切り、本機が動作しない状態で作業を行って下さい。

1. [A] のビス 2 個を外し化粧板を取ります。
2. [B] の隠しビス 2 個を外します。
3. [C] のビス 2 個を外すと側板が取れます。
4. TB-31 の電源を入れ、必要に応じて 2 個の半固定トリマーを調整します。
5. 調整が終わったら再度 TB-31 の電源を切り、上記 4 → 1 (逆順) で本機を復元して下さい。
※化粧板は樹脂製のため、[A] のビス 2 個は締めすぎないように注意して下さい。

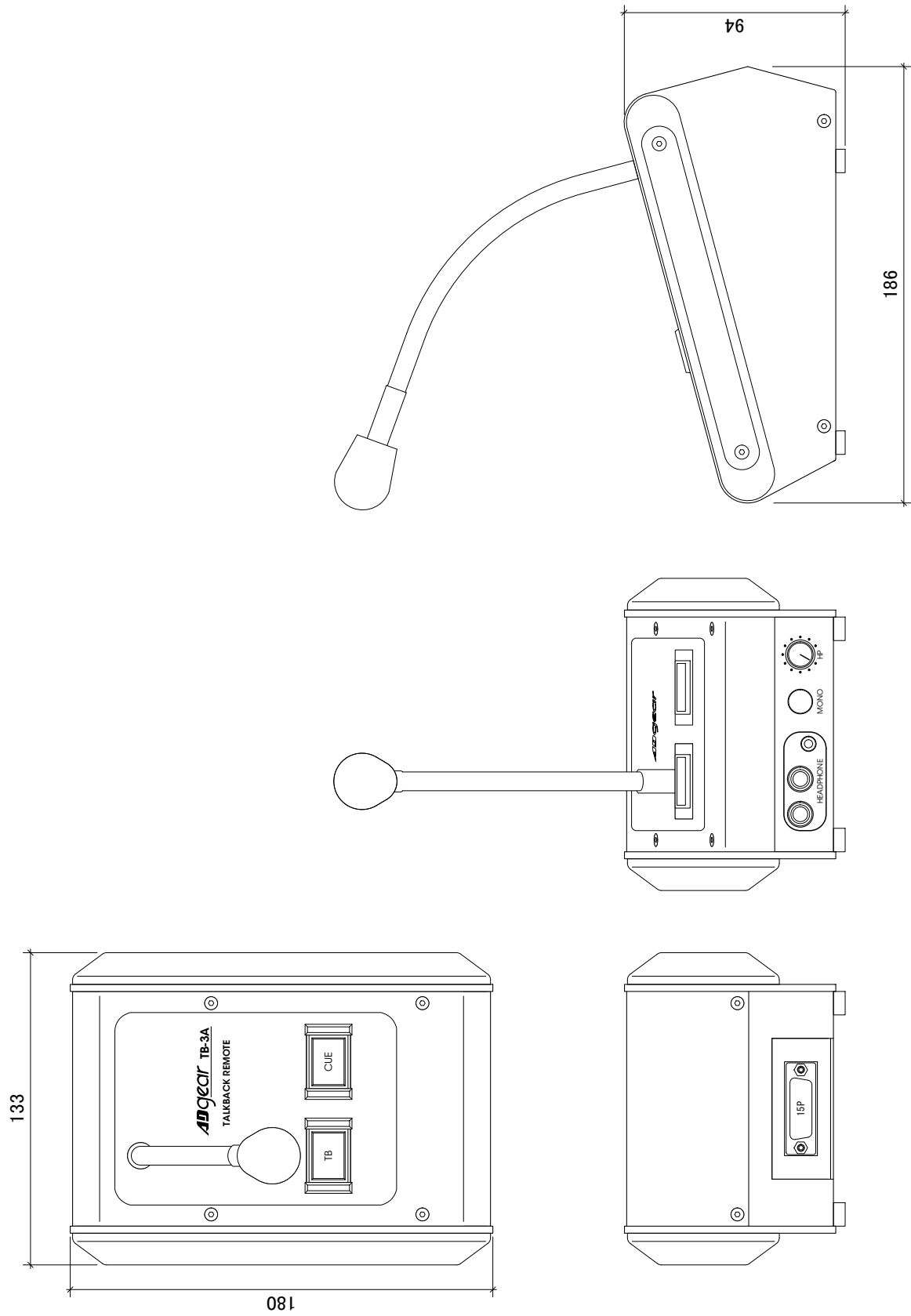
MIC GAIN マイクアンプのゲイン。
右に回すほどゲインが上がります。

THR コンプレッサーのスレッシュホールド。
右に回すほど深くかかります。

BLOCK DIAGRAM



APPEARANCE



製品の保証について

この度は、アイコニック製品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。

当社製品は下記の通り保証・サービスをさせていただきます。

御購入後1年間を保証期間とし、この期間中に正常な御使用状態で故障した場合は、無償で修理致します。

製品が故障して修理をお申し付けの場合は、故障前後の御使用状況を詳細にお知らせくださる様、お願い致します。

無償修理は、原則として機器をお持込みによるものと致します。運送業者に依頼される場合は、荷造り等に充分御注意下さる様お願い致します。この時、保険を掛ける事をお奨め致します。輸送中の事故は保証範囲に含まれません。

遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する費用を別途お申し受け致します。

保証期間後も、サービスは有償となりますが、引続きアイコニックが責任を持ってサービスさせていただきます。

▼お問い合わせ▼

株式会社アイコニック

〒205-0011 東京都羽村市五ノ神 1-15-7

Tel.042-579-0520 Fax.042-579-0529

